

FY2017 Shinsei IR Day
(2018年2月28日実施) 質疑応答要旨

総括

工藤 英之 (新生銀行 代表取締役社長 最高経営責任者)

Q: 公的資金返済の原資、ビジネスの成長、株主還元のバランスをどう考えていくか。

A: 総還元性向は 25%となり、一般的な銀行の総還元性向のレンジ (20%~50%) の下限に入ってきた。この安定的な維持・向上を図る。資本水準について、我々のビジネスを維持するための資本水準は絶対に必要なものであるが、それを超えた部分はノンオーガニックなビジネスの成長に振り向ける余地があると考えている。公的資金は普通株式に転換されており、株価を上げていかないと返済に近づけない。株価を上げるためには、資本を有効活用するか、株主に還元するかの二つの手段があるが、前者の手段としてノンオーガニックなものを含めた成長戦略があると考えている。

Q: 25%の総還元性向の維持・向上を図りつつ、ビジネスを維持するための資本水準の十分性を確認したあとで、余剰があれば成長のために資本投下していくということで良いか。

A: その理解で結構です。

以上